

いいまち

2026年4月15日

第114号

発行：長野県飯島町議会

# 議会だより

令和8年度予算決まる (P9~11)

給食費無償、保護者負担軽減

子育て支援充実

水道料金軽減

物価高騰対策

「知らないことを知る楽しさ」が学力

「南アルプス 子どもの村小中学校」「川崎市子ども夢パーク」視察 (P6,7)

陣屋

飯島陣屋

飯島町議会の情報を発信中！ ▶



YouTube

P3

元地域おこし協力隊員のいま  
堀内恵利子さん

P4~5

社会文教委員会  
陳情審査

P6~7

社会文教委員会  
視察報告

P8

総務産業委員会  
「わらむ」「われらの学校」の懇談  
陳情審査

P9~10

3月定例会 本会議  
議会全員協議会

P11

本会議での表決結果

P12

まちびとプランナー会議  
メンバー募集

P13~22

一般質問

P23

町民からの一言

P24

町民の声を議会へ  
みそ加工研究会  
議会だよりクイズ

ここが聞きたい

# 町政を問う

10議員が質問

星野 晃伸

部活の地域移行

中学吹奏楽部の地域移行の目標は… P13

宮下 秀和

投票しやすい環境

移動式期日前投票所の検討を …… P14

吉川 順平

農村再生の政策構想

「にぎやかな過疎」の実現を …… P15

伊藤 秀明

町の教育の実情

児童の評価方法は …… P16

折山 誠

消火栓新設の自治会負担金

安全安心のまちづくりの視点で見直すべき… P17

荒川 みずき

誰もが住みやすい町

飯島町の教育方針は …… P18

三浦 寿美子

買物困難者対策

現時点で施策として示せるものはあるか… P19

浜田 稔

柏木運動場アスベスト飛散

JVへの指名停止と損害賠償請求を行うか… P20

坂本 紀子

飯島町子どもの権利条例

条例の検討委員会を作っては …… P21

池上 明

まちづくり課題

今後の町づくりの方向性は …… P22

「一般質問」とは  
行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

# 元地域おこし協力隊員のいま

飯島町で地域おこし協力隊員として活躍された方に、その後の様子、議会や町へのご意見を伺いました。



## えりこ 堀内恵利子さん

飯島町在住7年  
地域おこし協力隊  
2019年4月～2021年3月

飯島駅近くで「喫茶もあい」を経営。「気軽に集える場所」として、キッズコーナーもある喫茶店を4年半前に開業しました。

**問** 移住されたきっかけは。

**堀内さん** 愛知県で生まれ育ち、高卒後は派遣社員として名古屋市で働いていました。30歳を超えた頃、会社に配られてきたフリーペーパーに飯島町への移住の広告がありました。

飯島町がどこにあるかも知らなかったのですが愛知県外に住んでみたいと思い、移住相談会に参加。隣の県だし、雪も少なく、高速バス2時間で行けるので来てみました。

担当された方の熱心なお誘いも

あり、何度か訪れたあと、2019年春に移住しました。

**問** 協力隊はいつからですか。

**堀内さん** 飯島町に移住するため、仕事を探していたら、役場の方から「地域おこし協力隊」として「まちの駅」で働いてみないかと言われ、応募し、採用されました。

**問** 「まちの駅」でのお仕事は。

**堀内さん** 町民が交流する場として様々なイベントを計画しました。しかし、2020年からコロナ禍が始まり、人が集まるイベントが出来ず苦労しました。

**問** 協力隊のあと、喫茶店を開業されましたね。

**堀内さん** 自分のお店を持って、交流の場にしたいという思いで開業しました。飯島駅前通りの空き家だったお店が借りられました。その前に、パートナーと出会い結婚。それぞれの仕事の場になっています。



猫人形たちがお客様をお出迎え

**問** 開業後もコロナ禍は続いていましたが。

**堀内さん** コロナは、すぐに終わると思っていました。大きなイベントが制限されていたから、

小人数で安心してすごせるお店にしました。

子連れのお母さんたちが集まりやすいように、キッズコーナーをつくり、絵本やゲームも置いています(下写真)。



**問** 社会とのつながりに悩む人たちの交流の場「もあいどころ」も運営されていますね。

**堀内さん** 社会とのつながりに悩む10代から50代の方々のよりどころになる場に出来ないかと相談され、少しでも役立つならばと引き受けました。

町から委託され、毎月第3木曜日午後2時～4時半までおこなっています。参加は無料、出入りは自由。お茶を飲んだり、お話をしたり、ゲームをしたり、黙って居るだけでも結構です。好きな過ごし方をしてもらっています。(参加のお問い合わせは町役場の健康福祉課へ)

**問** 議会や町へ望むことは。

**堀内さん** 小さな子どもが遊べる公園がもっと欲しいです。与田切公園や文化館前には子ども用の遊具はありますが、街中のあちこちに、散歩に行ける小公園が欲しいです。

# 社会文教委員会

令和8年度一般会計予算・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計の事業調査・本会議より付託された条例・陳情の審査を行った。審査の主な内容は以下の通り。

## 令和8年度予算

### 一般会計

#### ◆健康福祉課

##### 地域福祉係

**問** 大人の引きこもりサポーターは、教育委員会の子どもの引きこもりとも連携してほしい。

**答** 高校生までは、教育委員会の子育て支援係が対応している。今後も連携に務めたい。

##### 保健医療係

**問** 福祉医療費給付の変更は。

**答** 精神障がい者の給付対象を、「通院のみ」から入院も加え「入通院」を対象にする。

**問** 感染症予防事業の拡充は。

**答** 妊婦対応のRSウイルス感染症ワクチンが加わる。

#### ◆住民税務課

##### 税務係

**問** スマートアシスト・アイマップ(地番図・家屋図)更新業務とは。

**答** 家の新築に際し、航空写真で固定資産の評価をする。

**問** 税滞納者の対応は。

**答** 滞納整理機構で対応。

**問** 生活弱者対策で支援し、滞納金を分割納付にできないか。

**答** 課税担当と対応を密にした。

**問** コンビニ収納の件数は。

**答** 税金全体の15%がコンビニ収納。少しずつ増えている。今年の見込みは8000件。

##### 環境共生エネルギー係

**問** 粉石けんの製造機を購入する理由は。

**答** 「粉石けんを作る会」に貸している粉砕機が劣化したため。

**問** 町内の飲食店の廃油は使っていないのか。

**答** 基本は一般家庭の物を使っている。会の方針もあるので、たずねてみる。

**問** 猫の繁殖制限助成事業の現状は。

**答** 近隣より飯島町の上乗せが多く、使いやすい。

**問** 地域猫の考え方や対応の周知をしては。

**答** 猫が嫌いな人もいる。今後の方向性を考えたい。

**問** 新エネルギー普及対策事業の内容は。

**答** 太陽光発電・熱利用・蓄電・電気自動車等充電機の補助金。太陽熱利用は3万円から5万円に引き上げる。集会施設のLED化の補助など。

**問** 生物多様性のアプリ利用者への特典はあるのか。

**答** 写真のコンテストやアプリの利用得点の高い方に図鑑などをプレゼントしたい。

#### ◆教育委員会

##### 学校教育係

**問** 中学生海外派遣国際交流事業は。

**答** 生徒2人、引率1人をネパールに派遣する。

**問** 「イングリッシュキャンプ」とは。

**答** アグリネーチャーで、子どもたちがグループになり、外国



アグリネーチャーで開催されたEnglish Camp。中学生が独自の飯島町観光ツアーを考え英語で発表した。

人に英語で町を紹介する取り組み。

**問** 「東京グローバルゲートウェイ」とは

**答** 都内にある全て英語で対応する施設。ホテルや空港での対応が体験できる。20人規模で町のバスで日帰りする。



東京グローバルゲートウェイで英語だけの一日を体験する中学生たち

**問** 外国籍児童通訳支援とは。

**答** ベトナム籍・中国籍の保護者と先生が意思疎通する際、県国際化協会からのベトナム語・中国語の通訳の支援を受ける。

**問** 地域プロジェクトマネージャーの業務は。

**答** 学校運営協議会に参加し、地域と学校との連携、外国語教育の推進をする。TOEIC890点以上の人を会計年度任用職員で雇用する。地域との連携やALTの管理もする予定。

**問** 教員住宅の現状は。

**答** 老朽化が進んでいるので倉

庫にしている。借地なので、更地に返して返したい。

**問** 学校給食無償化の費用は。

**答** 事業費全体で4128万円。小学校は県支出金が2305万円、不足分は町が負担する。中学校は町が全額出資で無償化。国の物価高騰対策も活用。

## 子育て支援係

**問** たけのこクラブの事業は。

**答** 療育の支援を行っている。園児の巡回相談の中で発達に課題のある子ども向けに、月1回保健センターで開催。

**問** 学童クラブの利用状況は。

**答** 飯小は40~50人、七小は30人程。長期休みはそれぞれ80人、50人程になる。飯小は4月から「いいちゃんハウス」を利用。長期休暇は元の場所も利用する。七小は新生が増えるため旧パソコンルームにした。

2人目のきょうだい学童クラブを同時利用の場合、上の子の費用は半額。



「いいちゃんハウス」の学童クラブに使用する部屋。3月16日に社会文教委員が視察

**問** 子どもに関わる施策が様々あり、住民には分かりづらい。もう少し整理をしたらどうか。

**答** 国の様々な事業に対応するために施策が増えている。相談者に分かりやすいように努める。

## 生涯学習係

**問** 文化館と駐車場の間に誘導灯を付けてほしいが。

**答** 簡易なもので検討する。修繕すべきところは直す。

**問** 日曾利地区の埋蔵文化財の発掘関連費用と工事期間は。

**答** 面積が7千㎡になり6800万円の予算。全て県費で行う。発掘期間は2年、その後1年で圃場整備をする。

**問** 発掘されたものはどうするのか。

**答** 埋蔵物があったところは盛り土などをして元の状態に戻す。価値ある遺物が出た場合は収納するが、収納庫が狭く難しい状況。

**問** 陣屋の駐車場整備は。

**答** 取得した陣屋前の場所を令和8年度に大型バス2台分の舗装工事をする。

## 国民健康保険特別会計

**問** 国保加入者の減少傾向は続くのか。

**答** 人口減少とともに加入者は減っていく。

**問** 県統一の保険料になるのはいつ頃か。

**答** 令和18年の予定。飯島町は基金を取り崩し7年程値上げしなかった。今後は2年おきに値上げをする方針。

**問** 国保税が一気に上がらないようにしてほしい。

**答** 基金は保険者のお金なので保険者に還元する方針。県は、保険事業も統一するのでその中で市町村の予防事業が確保できると考えている。

## 後期高齢者医療特別会計

特になし

## 介護保険特別会計

**問** 介護保険の運営費は1億円近くに上がっている。繰入金が多いが。

**答** 給付費は上がっているので一般会計からの繰り入れがないと動かない。

**問** 町の負担は高齢者が施設に入ると増え、在宅介護だと減る。在宅で介護を続けられる取り組みは。

**答** 国は医療機関と連携して在宅で見てほしい方針。町もそれに対応している。

## 条 例

飯島町子ども第三の居場所設置条例

### 賛成5 可決すべきもの

飯島町乳児等通園支援事業の設置及び運営に関する基準を定める条例

### 賛成5 可決すべきもの

## 陳 情

国に対し「OTC類似薬の自己負担拡大を行わないことを求める」意見書の提出を求める陳情  
提出者：上伊那医療生活協同組合 飯島支部

### 賛成5 採択すべきもの

高額医療費制度の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める陳情  
提出者：長野県社会保障推進協議会

### 賛成5 採択すべきもの

# 社会文教委員会 視察報告

## 南アルプスこどもの村 小中学校

2月3日、山梨県にある「南アルプスこどもの村小中学校」を視察。同校中学校長の加藤博氏から説明を受ける。

開校は2009年。一学年は20人でクラスは小学生1年生から6年生までの異年齢学級。中学校のクラスも1年生から3年生の縦割り。

チャイム・テスト・宿題・通知表は無い。教職員は先生と称せず「大人」と呼ばれる。

### ★ 体験学習 ★

授業は、体験学習が中心の時間割。小学校では週14時限充てられる。内容は生活に根ざしたテーマで5クラスあり、名前は「おいしいものを作る」「クラフトセンター」「劇団南座」「ひらめ木工房」「わくわくファーム」。子どもたちは自分の好きなクラスを選び、年間を通して楽しむ。1クラスは約25人。中学校は4クラスあり、名前は



小学生が体験授業などで世話をする鶏たち。校内に豚や羊もいる。



木工の体験学習の様子。子どもたちの道具の使い方に感心して見入る。

「ものづくり研究会」「暮らし歴史館」「劇団カメレオン」「ゆきほたる荘」。各クラスは15人前後。それぞれに担任が2人いる“超”少人数学級になっている。基礎学習はそれぞれのクラスで行われる。一人ひとりの到達点を「大人」が子ども別にチェックしている。保護者には「生活と学習の記録」として報告される。子どもたちの7割は男女別の寮で暮らす。寮には月から木まで

泊まり、金土日の3泊は自宅で過ごす。

### ★ ミーティング ★

様々なミーティングが多い。全校集会では子どもも大人も対等。決議は子どもも大人も同じ1票で採決する。加藤校長は『ミーティングは様々な問題を気づかせ、言葉にして整理し、自分の考えをまとめ、他に伝えられる力をつける』と言う。



子どもたちだけで作ったブランコ。大人も乗れる完成度に驚く。



校内を見学し、加藤校長（奥）から小学校の外国語授業の説明を聞く。英語だけでなく、様々な国のあいさつや文化も学ぶ。

## ★子どもとの接し方★

加藤校長が「大人」としての子どもの接し方を説明。

『肯定的な声かけ・叱らず気づかせる・急かさなない・話し合いをする・意見を聞く・大人がジャッジしない』など、子どもの主体性、判断を大切にしている。

## ★知る楽しさ★

学校法人「きのくに子どもの村学園」は、同校を含め全国に5つの小中学校と1つの高等専修学校を運営。法人全体で700人の子どもに対して156名の教職員を擁する。モットーは「学力とは楽力(楽しむ力)、知らないことを知る楽しさ。競争主義が学校嫌いをつくる」。

基本方針は、子どもがいろいろなことを決める「自己決定」・一人ひとりの違いや興味が大事にされる「個性化」・直接体験や実生活が学習の中心になる「体験学習」の3つ。

## ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ 川崎市子ども夢パーク

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

2月4日、川崎市高津区にある「川崎市子ども夢パーク」を視察。同施設は公設民営で、不登校や放課後を過ごす子どもたちが、自由に過ごし遊べる。

## ★子どもの声を実現★

「川崎市子どもの権利に関する条例」は、子どもたち一人ひとりが大事にされなければならないとの思いで制定された。「夢パーク」はこの条例をもとに、子どもたちの提案を形にして2003年に作られた。

設立を推進し、現在は総合アドバイザーの西野博之氏から説明を受ける。



◀1万㎡の敷地に、コンクリート2階建ての施設と、周りを樹木で囲った土の広場がある。

▼異年齢の子どもたちが屋内広場でボールゲームを楽しむ。



## ★遊び場と居場所★

同施設には放課後の遊び場として誰でも使える「プレイパーク」(職員12名)と、不登校の子どもの居場所「フリースペースえん」(登録制、職員16名)がある。ここでは、毎日欠かさず昼食を子どもたちと一緒に作っている。どちらも無料で利用できる。西野氏は「子どもが、ありのままの自分でいられる場。多様に育ち、学ぶ子どもの居場所。自分の責任で自由に遊ぶ場。作りつづけていく場」と説明。「子どもにとって遊ぶことは生きることそのもの。遊ぶことで心と体の栄養を吸収する。遊びは人間として生きていく力を育む」と語る。



子どもたちが作った木製タワー。登れる子だけが登る。(写真は一部加工)

## ★開放感あふれる場★

「夢パーク」は「やりたい」ことに挑戦できるよう、できるだけ禁止事項をつくらないで「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大事にしている。



すべり台も池も子どもたちの手作り

訪れた日は、夕日の中、放課後の中学生たちが滑り台をスケートボードで滑り降り、泥池に飛び込んでいた(左)。全身びしょ濡れだが、開放感あふれる笑い声が響いた。

# 総務産業委員会 調査報告

令和8年度一般会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算の事業調査、本会議から付託された陳情の審査を行った。出された主な内容は以下の通り。

## 主 な 質 議

### 令和8年度予算

#### 【総務課】

問 ホームページ再構築の予算と完成予定は。

答 金額は1900万円。9月完成予定。

#### 【産業振興課】

問 町所有の修繕料は具体的に何の機械か。

答 町所有のラジコン草刈り機。

問 地域商社の可能性は。

答 協議会設置、設備、協議、検討、可能性調査、仕組み作り。

#### 【企画政策課】

問 飯島駅の切符販売を続けるのか。

答 続ける。

問 ふるさと納税PR品物に変化があるか。

答 ワインが増える。

問 出会い婚活推進具体的に。

答 各地で移住セミナーを開催し、飯島を見学してもらう。

#### 【建設水道課】

問 新田第一踏切工事費2,000万の内容は。

答 踏切内の工事はJRが施工。

問 まちかどベンチの内容は。

答 町民がくつろげる、賑わいにつながるベンチにしたい。

問 デジタル推進事業費はどこで使うのか。

答 上水道整備事業の水門遠隔操作システムに使う。

#### 〈浄水施設費〉

問 樽ヶ沢浄水施設は移転するのか。

答 移転も含めて検討している。

## 陳 情 審 査

「最低賃金法の改正と中小企業等の支援の拡充」を求める

提案者：上伊那地区労働組合連合会

賛成2 不採択すべきもの

### 「わらむ」 「われらの学校」 との懇談報告

3月17日、「株わらむ」代表の酒井裕司さん、「(一社)われらの学校」理事長の佐藤由希子さんと総務産業委員などの7町議が懇談。



酒井裕司(株)わらむ代表のお話。

俵づくり：日本相撲協会の依頼で、大相撲の本場所などで使う土俵俵など年間約4500個を作る。

「飯島は、国技を支える町と宣伝できる」。

しめ縄・しめ飾り：春日大社のしめ縄や、家庭用のしめ飾りなど年間30万個を作る。「国産わらの手作り品は高価でもよく売れる」。

わら細工：「わらいずみ」から、「わら飾り」まで作る。「わら飾りは世界的に人気がある。海外への販路を開拓中」。

作業場を増やす：辰野町の廃校になった校舎を借り、新しく作業場に。「伊那谷で複数体制にし、安定供給をはかりたい」。

体験観光で人を呼ぶ：わら細工

を体験したいという希望者が多い。「観光業と連携し飯島をわら細工の町として広めたい」。

わらむホームページ

<https://waramu.jp/>  
飯島町飯島1482-3



「われらの学校」は、生きづらさを感じている人たちが、わら細工などを学びながら居場所となるようにと、昨年開校。

佐藤由希子(一社)われらの学校理事長のお話。



「居場所を求める人たちを支援し、わら細工を覚え、作業することで収入が得られるようにサポートしている。多くの方が利用出来るよう、町や議会の支援をお願いしたい」。

われらの学校  
ホームページ

<https://warerano.jp/>  
飯島町七久保1833-5



#### ◆議員の質問

問 機械を利用しないのか。

答 手作りの方がしっかりしたわら細工になる。

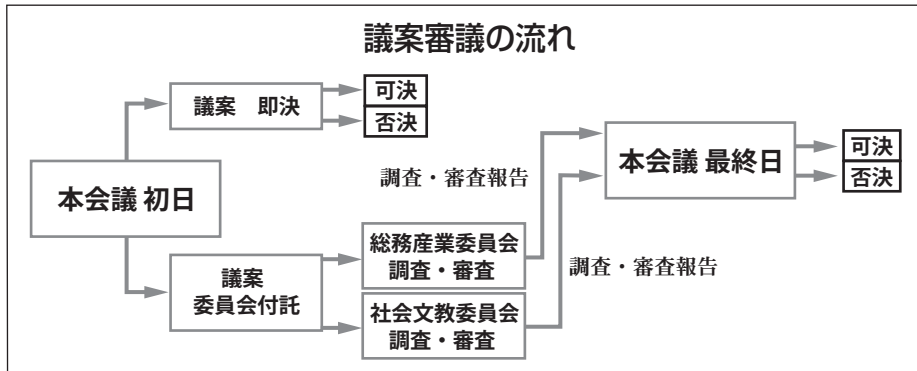
問 わら用のイネの品種は。

答 コシヒカリをはじめ、多くの品種が使える。

問 わらは足りているのか。

答 稲わらの乾燥機が足りない。高額なので増やせない。

3月6日から19日まで開催。初日に57議案（人事2件、条例11件、予算11件、一般33件）が上程され、うち49案件を即決、8案件の審査を常任委員会に付託し最終日に採決された。最終日には6件の議員発議の議案が追加・審議された。議案毎の討論・採決結果をP11に示す。



## 本会議での質疑や要望

**問** 諸物価が高騰する中での予算案だが、策定時の見込みを超えるのでは。

**答** 町職員数を抑え、新町発足70周年事業も質素に行いたい。

**要望** 多数のきめ細かい施策を評価するが、一方で町職員の負担増も心配だ。コンビニ交付などで事務負担の軽減を求める。

**問** 「子ども第三の居場所」の名称は、やや硬く感じるが。

**答** 児童生徒の投票結果から「いいちゃんハウス」という愛称を使う。

**問** 「地域商社」の経営責任と事業化への見通しはどうか。過去に失敗例もあるが。

**答** 協議会を設立し、町や住民が出資して独立採算で進める。森林資源と自然景観、農業などで町内外に経済循環を生み出す。有能な責任者が必要で、軌道に乗るのは5年くらい先。億単位の年商を求めていく。






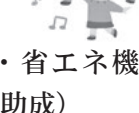
## 令和8年度の施政方針と予算案




町長は、国内外の不透明な動きに対し堅実な財政運営に努めるとし、5つの重点ポイントを示した。

- ①子ども元気と、学びの力
- ②豊かな生活環境と地域経済の活性化
- ③持続可能な環境保全
- ④共に支え合える地域づくり
- ⑤物価高に対する支援

一般会計予算規模は65億1000万円が提案された。

## 新年度に即効性が期待できる事業の紹介

- 学校給食費の無償化・保育園3歳児以上への主食の提供 
- 水道料金軽減（基本料金の8カ月分） 
- 中学校卒業祝金（2万円） 
- 子ども誰でも通園制度（2歳までの未就園児を時間単位で保育） 
- エアコン設置（保育園・低所得世帯・消防団詰め所） 
- 中小企業支援（ホームページの構築・省エネ機器の設備投資などを助成） 

- 環境保全支援（アプリを使用した生物調査、粉石けん製造機の更新、集会所のLED化） 
- 福祉・健康（精神障がい者入院給付追加、フレイル予防教室に田切会場新設） 
- 異文化交流事業（国際交流事業、EnglishCamp）
- 買い物環境（移動販売「うえたん号」の運行費助成） 

以上のように、暮らしの支援を基調にミヤマシジミで「環境保全の町」をアピールし、地域商社を設立して将来の産業創出を進める構想が見える。



新年度予算案の詳細は町のホームページから閲覧できる。

<https://www.town.iijima.lg.jp/material/files/group/3/R8yosangaiyou.pdf>



## 議案審議

全57議案に対し質疑討論が行われ、いずれも可決された。結果をP11に示す。

# 3月定例会 本会議

## 3月議会の最終日

委員会に付託された議案について、総務産業・社会文教の両常任委員長から調査・審査結果の報告があり、議案ごとに質疑・討論・採決が行われた。

○子ども第三の居場所設置条例

**賛成討論：**当初の3年以降も利用料負担が生じないように求める。

○乳児等通園支援事業  
討論なし

## 新年度の一般会計など6予算

### 一般会計

**問** ii ネイチャーの利用状況は。

**答** 14%と伸び悩んでいる。民間事業者との連携に期待する。

**賛成討論：**職員負担の増加に留意を。音楽療法の活用を。外国との接点拡大を評価する。

### 国保会計

**賛成討論：**当町は経営努力をしてきた。経営は町村で差があり、県統合で当町の国保税が高くないように求める。

### 水道事業会計

**賛成討論：**基本料金8カ月無料、中川村への用水供給による経営改善を評価する。

### 下水道会計

**賛成討論：**生物資材で汚泥を減らす取り組みを評価する。

## 陳情審査

「最低賃金法の改正と中小企業支援拡充」

**賛成** 長野県の最低賃金では月額17万円で暮らしていけない。

**反対** 1700円全国統一は中小企業への倒産につながる。

賛成5 **不採択**

「OTC類似薬の自己負担拡大を行わない事を求める」

賛成10 **採択**

「高額医療費制度の自己負担額上限の引き上げをしないこと」

賛成10 **採択**

## 議員発議の意見書と決議

3月定例会では陳情を受けての意見書(※)のほかに、3件の議員発議の意見書が提出された。

町内の課題から国際平和に及ぶ内容で、提出議員の思いが表明され、熱い討論が行われた。

※「OTC類似薬の自己負担拡大を行わないことを求める」

※「高額療養費制度の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める」

※「物価上昇に対応した賃金改善と中小受託取引適正化法の徹底を求める」

(陳情は否決となったが、委員会で論議をし、本会議で一致できる内容の意見書を発議した)。

「イランをめぐる軍事行動の即時停戦と外交による平和解決を求める」

「JR東海に対し、七久保駅舎改修工事に伴う住民説明会の開催と、安全な駅舎にするよう促すことを求める」

「柏木運動場整備事業においてアスベストの飛散を引きおこした事業者への厳正な処分を求める決議」

## 議会全員協議会

(議長が招集、全議員が一堂に会し、行政からの重要案件の報告受取や、議会運営に関する協議・意見調整を行う非公式な会議。本会議とは異なり議決は行わないが、原則として公開される。)

令和8年に開催された全員協議会での行政側からの報告

### 1月16日(金)

- ①物価高騰対応の経済対策案
- ②生物多様性シンポジウム開催
- ③農業水路長寿命化の追加補正
- ④社会資本整備交付金追加補正
- ⑤柏木運動場整備事業に係るアスベスト対策

### 2月16日(月)

- ①法律改正による選挙運動の公費負担
- ②新町発足70周年ロゴマーク
- ③いいじま未来共生イノベーション事業案
- ④リチウムイオン電池の回収
- ⑤JR跨線橋点検業務の入札談合に係る賠償金請求
- ⑥土地開発公社の解散
- ⑦柏木運動場整備事業に係るアスベスト対策
- ⑧子ども第三の居場所
- ⑨こども誰でも通園制度
- ⑩生涯学習センターの位置変更

### 3月19日(木)

- ①DX推進計画
- ②ネイチャーポジティブ宣言
- ③地球温暖化対策実行計画
- ④新型インフルエンザ等対策行動計画
- ⑤国民健康保険事業の運営に関する協議会における諮問答申
- ⑥観光基本計画

## 3月定例議会本会議で採択した案件

- 人事2案件** 固定資産評価審査委員会委員の選任、農業委員会委員12名任命
- 条例制定2案件** 子ども第三の居場所設置条例、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 条例一部改正9案件** 議会議員及び町長の選挙運動の公費負担に関する条例、個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例、消防団員等公務災害補償条例、基金条例、手数料徴収条例、福祉医療費給付金給付条例、火入れに関する条例、公共下水道条例、生涯学習センター条例
- 令和7年度補正予算5案件** 一般会計補正予算(第7号専決)、一般会計補正予算(第8号)、後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)、介護保険特別会計補正予算(第4号)、水道事業会計補正予算(第4号)
- 令和8年度予算6案件** 一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、介護保険特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算
- 3事業所の指定管理案件** 道の駅花の里いいじま、道の駅田切の里、滝ヶ原地区高齢者支えあい拠点施設の各管理者を指定
- 27自治会への指定管理案件** 岩間、北町、上ノ原、中町、豊岡、山久、石曾根、鳥居原、日曾利、赤坂グリーンヒル、春日平、追引、南割、南田切、中平、北河原、本郷第一、本郷第五、本郷第六、高遠原、新屋敷、南街道、北村、柏木、荒田、新田、針ヶ平の各集会所の管理者を各自治会に指定
- 公社解散1案件** 飯島町土地開発公社の解散
- 道路線変更・踏切工事2案件** 町道路線の変更について、新田第一踏切道歩道設置工事の施工に関する(JRとの)協定書の締結に係る専決処分

## 3月定例会 審議議案と議員の賛否

上程議案・概要・結果 賛成：○ 不賛成：× ○…賛成多数で原案を可決、認定、採択 注)議長は賛否表明はしない	結 果	池 上 明	坂 本 紀 子	伊 藤 秀 明	宮 下 秀 和	三 浦 寿 美 子	荒 川 み ず き	折 山 誠	堀 内 学	星 野 晃 伸	浜 田 稔	吉 川 順 平	宮 脇 寛 行
<b>陳情</b>													
OTC類似薬の自己負担拡大を行わないことを求める	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	注
高額療養費制度の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
最低賃金法の改正と中小企業等の支援を求める	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	○	×	
<b>意見書</b>													
JR東海に対し、七久保駅舎改修工事に伴う住民説明会の開催と、安全な駅舎とするよう促すことを求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
OTC類似薬の自己負担拡大を行わないことを求める	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
高額療養費制度の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
イランをめぐる軍事行動の即時停戦と外交による平和解決を求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
物価上昇に対応した賃金改善と、中小受託取引適正化法の徹底を求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
<b>決議書</b>													
柏木運動整備事業においてアスベストの飛散を引きおこした事業者への厳正な処分を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	

まちびと政策プランナー会議

# メンバー募集

テーマ 飯島駅周辺のまちなか活性化に向けて

持続可能な  
飯島町のために  
自分事として  
考えてみよう!



こうなると  
いいな

こうしてほしいな

日時 2026年7月～8月 土・日を基本に最大4回

定員 20名 中学生以上の飯島町在住・在勤の方

## 趣旨

将来にわたり持続可能な町へ向け、若者から高齢者まで自分事として考え、行動することを目指します。  
町民の交流を図りながら、誰もが新しい発想を言い合える「まち」を目指します。

## 留意事項

- ・人の意見に批判や反対をせず、誰もが話やすい環境づくりにご協力ください。
- ・議会活動の一部として活動するため、メディアの取材や報道も予想されますのでご承知おきください。

## 応募方法

参加を希望される方は議会事務局またはお申込みフォームよりご連絡ください。  
TEL : 0265-86-3111 E-mail : gikai@town.iijima.lg.jp

## 応募締切

2026年6月15日(月)

お申し込み  
フォーム



部活の  
地域移行

中学吹奏楽部の地域移行の目標は

8年度末までに地域クラブ化が  
出来るように進める

教育長



星野 晃伸

問 地域移行の考えは。

教育長 様々な課題に取り組んでいる。8年度末までに休日地域移行の完了を目指している。吹奏楽部は8年度から地域クラブ化出来るように進めていく。

問 部活動を見学しているか。

教育長 見学している。

問 地域指導者の選抜は。

教育長 近隣市町村で探しており、町内出身のフルート会社社長にも相談している。単に楽器指導だけでなく人間力も育てる人材を探している。

町の資源を生かすには

問 町内優良企業から町の活性化に向けた様々な提案がされたらと報告があったが、その中で参考になったものは。

町長 自然観光・森林資源・俵産業などを活かして、いいじま



稲わらを編む酒井裕司さん。「(株)わらむ」代表で、「(一社)われらの学校」理事。人とかがわるのが苦手な人たちに、わら細工を教え、手助けしている。

未来共生イノベーション事業に生かし進めていきたい。

問 町には、わら細工やクロモジなどの資源がある。有効活用するために財政的支援や外部アドバイザーに依頼する考えは。

産業振興課長 自然資源・観光・わら細工などを生かし、外部からも知恵を集め、生産者・販売者が連携していくように進める。

中学校不登校生徒

問 中学校不登校生徒数の変化と、不登校をなくす対策は。

教育長 現状に変わりはなく、中学生3名。それぞれの生徒にあった指導をしていきたい。

問 不登校や障がい者へ社会復帰の手助けをする一般社団法人「われらの学校」を認知して、援助する考えは。

教育長 「われらの学校」は認識している。支援は今後考えていく。



県伊那文化会館でコンクールに参加





宮下 秀和

## 投票しやすい環境

移動式期日前投票所の検討を

研究していく

選挙管理委員長

**問** 投票所の中に、靴を脱がないと投票出来ないところがある。改善を求める。

**選挙管理委員長** 施設管理者の縛りがあるが、シートやマット



高知県の町の移動式期日前投票所  
(総務省のホームページから)



解体工事がすすむ七久保駅

を敷くなどし、土足で投票できるか、研究していく。

**問** 多くの自治体で期日前にワゴン車などを使った移動式投票所を行っている。飯島町でも実施を求める。

**選挙管理委員長** 他の自治体の実施状況や効果、費用も検討しながら、期日前投票の利便性向上にむけ、研究していく。

### 七久保駅舎の改築

**問** JR東海は、利用者や住民に説明しないまま、七久保駅舎の解体工事を進めている。住民説明会を申し入れているか。

**副町長** 我々も説明会を求めているが、JRは聞き流すだけ。これからも住民説明会の開催をJR東海に求めてく。

**問** 飯島駅舎の改築は。

**副町長** 来年度になれば、JR東海から「飯島駅舎のスリム化」の話がくると思う。町の活性化を含め、今後もJRと協議する機会がある。こちらの要望も伝えていきたい。

**町長** 利用者が安全で安心して使える駅舎になるように、町民を代表してJR東海に強く要望していく。

### 多文化共生の取り組み

**問** 長野県内でも外国籍の住民が増えている。町の取り組みは。

**企画政策課長** 町内の日本語教室に対する支援は引き続き取り組んでいく。新年度に日本語教室推進補助金を創設する予定。

**問** 外国籍住民が交流会などに参加しやすい情報提供を。

**企画政策課長** 日本語教室や交流の催しは、外国籍住民が働い

ている事業所にも直接知らせている。

**問** 町全体の取り組みは。

**企画政策課長** 町のホームページの多言語化、日本語教室、広報「いいじま未来飛行」での国際理解に関する取り組みの紹介。防災について学びながら交流するイイジマ防災キャンプ開催、保育園、小中学校では様々な授業を通じて英語に触れる機会を増やしている。



「いいじま未来飛行」で紹介される  
日本語を学ぶ外国籍住民

**問** 小中学校での多文化共生の取り組みは

**教育長** 学校教育ではJICAなどによる授業、地球人ネットワーク等と連携した異文化交流事業などを実施し、多様な文化に触れている。

オーストラリアからの学生との交流、保育園では英語を話す人に訪問してもらい日常的に英語に触れる機会を作っている。町費雇用のALTを小・中学校に1名ずつ常勤体制で配置し、外国語への抵抗感軽減につなげている。

### 中学校の新制服

**問** 新しい制服の費用負担の軽減を検討しているか。

**教育長** 生徒たちが、総合学習で新しい制服の検討をしている。現状では費用負担の観点から検討されていない。今後は費用面も検討していきたい。



吉川 順平

農村再生の  
政策構想

「にぎやかな過疎」の実現を

外との交流をエネルギー  
に出来る農村が理想 町長

**問** 明治大学農学部教授小田切徳美の「にぎやかな過疎をつくる 農村再生の政策構想」の著書について町が参考とする事柄があり、政策に活かしていくことが出来るのか、見解を。

**町長** 多くの住民に出番があり、活躍出来て、地域が活性化している状態が「にぎやかな過疎」である。

農村RMO(地域運営組織)により、にぎやかで、小さいながらもわいわいがやがやしている地域づくりが重要。

**問** 結婚を応援するための社会の機運醸成は。また町が行う結婚応援施策はあるか。

**企画政策課長** 難しい課題。結婚相談員による出会いの場の創出、新婚世帯に特化した補助を考えている。



食と農の意識と行動

**問** 国産愛用運動、国産を選んで食べることで産地を応援出来る。機運醸成をするためにどんな施策があるのか。

**町長** 食と農が密接に連携しながら、地域の食材をきちんと地域で消費すると共に、学校給食でもしっかり取り組んでいく。消費者が飯島町農業に関わりを持つ仕組みづくりが重要だ。

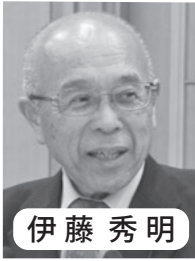
若者の定住

**問** 若者が定住するためのまちづくりの施策はあるのか。

**企画政策課長** 若者に意見を聞き、施策に反映させていく仕組みづくりの検討を進めている。



JA グループのポスター



伊藤 秀明

## 町の教育の実情

## 児童の評価方法は

現在の通知表の課題を  
明らかにし保護者の声も  
聴きながら検討  
教育長

**問** 児童の評価方法は。

**教育長** 通知表の廃止を前提にした検討は考えていない。

大事なことはどのような形での評価が子どもの学習意欲を高めるかだ。保護者が子どもを育てるうえでどのように役立つものにしたらよいのか等、通知表の在り方を一旦立ち止まって検討していきたい。

具体的には町内校勤務の教員で、あり方検討委員会を組織し、現在の通知表の良さと課題を明らかにして、保護者の声も聴きながら検討していきたい。

**問** 教員の超過勤務の実態は。

**教育長** 当町の1カ月あたりの時間外勤務調査では、昨年度は県の平均と比べるとかなり高い状況。今年度は、意識の変化で、ほぼ県の平均近くになっている。

**問** 町の教員不足の実態は。

**教育長** 教員の確保については非常に厳しい状態には変わらない。令和8年度は充足できている。今後、育児休業や療養休暇等があった場合、代わりになる先生の確保は困難になると思う。

**問** 部活動の地域展開と指導者の現状は。

**教育長** 現在飯島中学校では、バレーボール・サッカー・バスケットボール・野球については地域移行への展開が進められている。今後はソフトテニス・吹奏楽・美術・演劇の部活動は地域展開を進めなければならない。文科省では将来、平日も地域展開にしたいようだが、飯島町も上伊那管内同様に平日の地域展開は厳しい状況。

**問** PBL(問題解決型学習)授業の実態は。

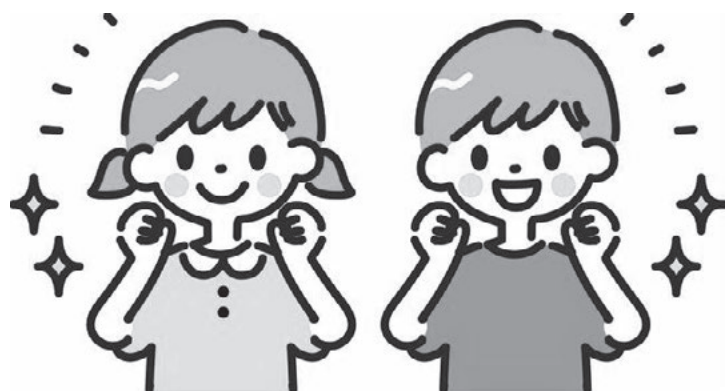
**教育長** 町内の学校は、教科学習でも子どもどうしの対話を大事にしている。協働で学んだり、授業中も活動場面を取り入れながら、知識を得るだけの学習にならないように取り組んでいる。

**問** がん教育の実態は。

**教育長** 小学校では、保健の教科書に資料としてはあるが、指導内容には入っていないので基本的には行っていない。中学校では、保健体育の中でがんとその予防という学習がある。その学習後、がんを克服した人に直接話を聞く機会をもうけている。

**問** 薬物乱用防止教育の実態は。

**教育長** 小中学校は、薬物乱用に伴う身体への害、防止の心構えの対応を学習している。小学校は5、6年生、中学2年生に対し年に1回薬剤師から学んでいる。



## ▶その他の質問

- ・町長の2年経過した感想は。
- ・食料品店誘致について。

## 安全安心のまちづくりの視点で見直すべき

### 消火栓新設の自治会負担金

### あり方検討委員会の検討項目とする 町長



折山 誠

**問** 自治会の今日的な課題として負担軽減が議論されているが、消火栓新設の自治会負担金は自治会の大きな財政負担となっている。

現在、消火栓設置は自治会が申請し、町の予算に応じて敷設されている。負担金の捻出が厳しい自治会は申請すらできないのが現状だ。

安全安心のまちづくりのため、町全体の計画を立て、緊急度の高い順に町の予算で設置するべきでは。

移住者の中には自治会未加入者も多く、当該自治会に地元負担を強いるのは酷だ。

**町長** 消火栓の町全体の計画については、研究をする。

自治会の負担金については、あり方検討委員会で検討しているので、その中の一項目として検討する。

### 医師確保

**問** 全国で活躍する町出身の医学生や医師との交流を継続し、絆を深めていくことが大切と思うが。

**町長** 現在は疎遠になっているが、できるだけ様々な手法でつながりを持ち、一人でも町に戻ってきていただけるような取組をしていきたい。

**問** 昨年4月に創設された医師確保担当者に「医師確保は微妙な課題であり、勝手に動くな」という副町長の指示があったと聞かすが、医師確保にブレーキをかける結果にならないか。

**町長** 医師確保専門の職を任命しており、その職員が自らの裁量で自由に動ける仕組みに改めていきたい。

### 子どもの居場所づくり

**問** 学校へ行きづらくなっている子どもが30人程いるとのこと。

町長公約の文化館周辺の公園化はそうした子どもの居場所づくり学びの場の一部として構想しているのか。

**町長** 自然環境を生かし、地域連携した学びの場づくり、子どもだけでなく、多くの人々が集まれる場所を町全体に広げていきたいと構想している。

**問** 当町は伊那谷の中央に位置し、長い歴史を風土に持つ。地域住民と学校とが連携して総合学習など行っている。

広域的な子どもを対象としたフリースクールを開校する長期的な展望について教育長の考えは。

**教育長** 来年度から「いいちゃんハウス(第三の居場所)」がスタートする。今の学校の形は必要だが、うまくなじめない子どものための学びの場も必要である。

またそれは、学校に行けている子どもたちも含め、町全体が学びの場であるという認識で、自然と関わり、人と関わる、ということ存分に味わえる。全町がそういう形になっていくことを望ましく思う。





荒川みずき

## 誰もが 住みやすい町

### 飯島町の教育方針は

地域の皆さんと共に  
学び育ち合える  
寄せ鍋のような場所を

教育長

**問** 飯島町子ども第三の居場所「いいちゃんハウス」を学校の敷地内に設置することに、住民から反対や慎重な意見はあったか。

**教育長** 設置自体への反対は特になかった。教科によっては学校に通える子どももいるため、



「いいちゃんハウス」の台所スペース  
を見る荒川議員

移動のしやすさも考慮した。

**問** 「いいちゃんハウス」の計画は、子ども基本法に基づいて、子どもたちの意見は反映されているか。

**教育長** 子ども自身が主体となる場であることを伝え、一人一人の思いを聞く機会を設け、運営主体や学校と連携し進めていく。

**問** 小学校の今後の在り方について、将来的な方向性をどのように考えているのか。

**教育長** 近い将来に単級化が見込まれるが、まずは「どんな15歳に育てたいか」が重要。来年度から町全体の学校運営協議会を設置し地域と連携する。

**問** 小規模校の特性を生かした教育の推進について、町の考えは。

**教育長** 全校が小規模化する中、県教育委員会の「TOCO-TON事業」※により特色ある教育を推進し、地域とつながる「寄せ鍋」のような学校を目指す。

## 化学物質過敏症

**問** 3年前の質問以降の変化も含め、現在の状況をどのように把握しているのか。

**総務課長** 再確認したが問題となる事例はない。

**問** 私の近隣で、過敏症が昨年発症し、外出ができなくなり、仕事も失った例がある。

ここ数年で急激に変化した洗剤等を取り巻く環境について、町としてどのように認識しているのか。

**住民税務課長** 生活環境への影



国の化学物質過敏症のポスター

響は認識している。ただ患者予備軍の増加は個人差も大きく、当事者だけでは解決困難な側面もある。

**問** 住民への周知や啓発について、現在の取り組みは。

**住民税務課長** 国のポスターを役場や公共施設等に掲示し注意喚起を行っている。

**問** 専門家を呼んで勉強会を開くなど更なる取り組みが必要と感じるが。

**住民税務課長** 役場内で研究していく。

**問** 発症後の生活支援について、町の支援体制はどうなっているのか。

**健康福祉課長** 町独自の制度はないが保健師相談は可能。相談窓口や障害年金制度の案内を行っている。

※「TOCO-TON事業」とはすべての子どもが「好き」や「楽しい」、「なぜ」を追求するために、自ら学び方等を選択でき、自己実現できる学校を目指して、とことん取り組む学校を「ウエルビーイング実践校 TOCO-TON (トコトン)」に指定する長野県の計画。



三浦 寿美子

## 買物困難者 対策

# 現時点で施策として示せるものはあるか

## 「うえたん号」支援や いいちゃんバス停留所増設 町長

**問** エーコープ飯島店閉店後、買物困難者が増えていると感じる。町長は、住民との話し合いをしようと言ったが。

**町長** 現在まで話し合いはしていない。しかし、社協の飯島朝市や「うえたん号」のドライバーから聞き取りをしている。「いじま未来トークサロン」の中でも意見を聞いている。

**問** 現時点で施策として示せるものはあるか。

**町長** 「うえたん号」の運行への支援。いいちゃんバスの停留所を増設した。

また商店の誘致に取り組んでいるが、商売が成り立つ環境が必要である。飯島は商圈規模が小さく誘致が難しい。鋭意努力をしていく。報告できるようになればする。



うえたん号での買物風景

**問** 住んでいる地域によっても利用者の希望が違う。移動販売車を利用している人。いいちゃんバスや電車などで買物に行く人。移動販売車では十分でないという人もいます。

状況を把握し、寄り添う対策が必要だが。

**産業振興課長** 「うえたん号」は町内48カ所で移動販売をしている。いいちゃんバスを使って、Aコープ七久保店やウエルシアを利用できる。ケアマネージャーや民生委員が紹介している。



ウエルシアに停車中のいいちゃんバス

いいちゃんバスの停留所の利用者数の把握や希望を取って停留所の増設・ルートの見直しをした。

事業者と停留所の利用状況を共有している。

宅配や通信販売を利用するなど、工夫している話も聞いている。情報を集めながら、より良い方法を考えていく。

**町長** いいちゃんバスやタクシー券の利用への周知が不足していると感じる。

いいちゃんバスは、

80歳以上の人は登録すれば自宅まで行くデマンドバスになっている。宅配サービスは、社協の有償福祉サービスがあるので社協に問い合わせを欲しい。

### 宅配支援の 仕組みができないか

**問** 買物を持って帰るのが大変な人がいる。宅配の仕組みができると良いと思うが。

**健康福祉課長** 近隣のスーパーやドラッグストアでは、宅配支援を行っていない。

社協には有償福祉サービスがあり、宅配や買い物に付き添うボランティアもある。社協に問い合わせをして欲しい。

いいちゃんバス  
停留所

ウエルシア上伊那飯島町店  
時刻表

時 刻	往高野 上伊那 行	往高野 飯島 行	往高野 上伊那 行	往高野 飯島 行
7	55	40	40	
8				
9		45	45	
10	00	25	23	43
11				
12		30	28	48
13	20	05	05	
14		55	55	
15	10	35	33	53
16				
17		15	13	33

ウエルシアのいいちゃんバス停



浜田 稔

## 柏木運動場 アスベスト飛散

JVへの指名停止と  
損害賠償請求を行うか

アスベスト処理後に  
総合的に判断

町長

**問** アスベスト飛散問題は事故か事件か。

**町長** 不注意による事故では無く、注意義務に違反する行為であった。

**問** 昨年12月18日の説明会に配布された一式の書類の中で、日時記述に違いがある。表紙には「飛散日は12月2日のみ…深刻な健康被害は発生しないものと推定」。弁護士報告には「12月4日午前8時20分に工事中止を命じた」。現場担当者の記録では「12月3日 風が強く広範囲に飛散」

「12月4日AM8:20…破断粉を集積した袋は口が閉じられないまま…AM11:30に工事停止を通告」とある。

書類の中に食い違いがあり、読む人に『12月2日に全てが終わった』『早めに工事停止を命じた』と誤解させかねないのではないか。

**副町長** 報告を急ぐあまり確認ミスが生じた。申し訳ない。

**問** アスベストの飛散は強風の12月3日から翌朝まで続いたとみられる。近隣住民に屋外作業をやめるよう警告しなかったのはなぜか。

**町長** 3日に薬液散布をして飛散防止の徹底を現場に指示したため、住民への注意はしなかった。

**問** 問題発生後、町とJVの責任者は共同で現場検証をおこなったか。

**町長** 町長としては12月6日朝以降何度も見ている。JVの幹部と共同では現地を見ておらず、12月8日以降役場で何度も懇談している。

**問** 問題が生じたら双方のトップが現場を確認し、受注者が発注者に詫びるのが筋では無いか。“懇談”ならば不適切だと指摘しておく。

注 懇談「打ち解けて親しく話し合うこと」(広辞苑)

**問** 顧問弁護士には既に60万円支払われている。時給2万円が相場と聞いている。法的根拠と担当者の記録による3ページ足らずの報告書にそれだけの価値があるのか。

**副町長** 1案件で30万円程度、法的根拠も調査しており妥当だと判断している。

**問** 県や国の関係機関に報告したか。

**副町長** 労基署・長野県・国交省に報告した。

**問** 住民説明会資料ではJV構成員や下請けに対し「指名停止処分を行う予定」「損害賠償を行う所存」と明記しているが、実行したか。

**副町長** JVの姿勢を見ながら検討中。

**問** 町と弁護士が同意した文書に記述され、住民に公表した約束では無いのか。公的機関としての厳正な対処を求めるが。

**副町長** 町が判断して決める。

**町長** 現在アスベストの処理に注力しており、その後検討していく。

### 石綿に関する法令規則と罰則

#### 下請業者の責任

大気汚染防止法及び石綿障害予防規則では、元請業者に加え、下請負人も作業基準の遵守義務の対象に含まれる。

#### 違反行為への罰則

大気汚染防止法及び石綿障害予防規則に基づく規制に違反した場合には、それぞれ罰則が適用される可能性がある。

・行為者及び法人に対して最大で6カ月以下の懲役又は50万円以下の罰金

飯島町子ども  
の権利条例

## 条例の検討委員会を作っては

## 子ども憲章を掲げて取り組む 町長



坂本 紀子

**問** 2023年4月子ども基本法が施行。町では妊娠前から入学まで切れ目のない支援をしているが、町長の公約にこの項目はない。所信は。

**町長** 昨年の3月に「子ども計画」を策定し取り組んでいる。

「子どもの権利条約」は差別がないこと・命が守られ教育を受けられること・子どもの意見の尊重など掲げている。私は安心して子育て出来る町づくり・多様な学びの出来る町づくりを公約にしている。

条例によらず「子ども憲章」がいいと考える。

**問** 全国の小中学生の不登校児は、12年連続増で2025年は過去最高の35万3千人。

長野県の18歳未満の自殺率が、全国平均を上回る時もあった。授業のわからない児童を日々の学校生活で救えているのか。

**教育長** 町の学校評価アンケートで90%以上の子どもが「学校が楽しい」と回答。私から見ても前より楽になっている教科もある。わからない子どもには、先生が個別の指導や、長期休業で別の課題を与えたりしている。全て救いきれているとは言い切れない。

先生の意識改革や学校の見直しも必要。保護者や地域の人々とも連携し、子どもを育てたい。

**問** 「子ども基本法」は差別の禁止・子どもの最善の利益・生命生存発達に対する権利、子どもの意見の尊重が基本。教師がこの法律を理解し、子どもに教える必要があるが、実態は。

**教育長** 中学校は社会科の公民の授業で学ぶ。先生方がこの理念を大事にすることは大切。基本法が自殺・不登校・虐待を減らすかはわからないが、子ども・親・地域の人々への周知は必要。

**問** 南アルプス市の私立の小中一貫校「きのくにこどもの村学園」を視察。

子どもたちが自分のやりたいプロジェクトを選ぶ。小学生は1年生から6年生まで、中学生は1年生から3年生がそれぞれ混ざって学ぶ体験型学習で学習指導要領の枠内で対応。

町の体験型学習をさらに拡大できないか。

**教育長** 特に総合学習で体験的に学んでいる。寄せ鍋学校を実現していくためにも教育理念の共有を図り特色ある学校に取り組みたい。

**問** 「子どもの権利条例」は、「子ども基本法」を上位法令に持ち、自治体にとって必要な条例だと考える。条例では相談・弁護士サポートを含み、そこが憲章とは違う。

条例制定の検討委員会を作っては。

**教育長** 「子ども基本法」の周知が進んでないので今は考えていない。まず「子どもの権利条約」「子ども基本法」を子ども・親・町民へ理解してもらうことが大事。将来は条例でなく憲章のような形を作りたい。

「食器リサイクルの会」  
の活動に町も協力を

**問** 直近3年間で不燃物として出された食器の量はどれくらいか。

**住民税務課長** 不燃ごみで食器・ガラス・金属と一つの袋なのでわからない。不燃ごみの3年間の平均は年30トン。

**問** 松本市で、2007年から「暮らしと環境を考える会」が不要食器回収に取り組んでおり、回収し生産地へ配送、食器として再生。県内では17市町村が取り組み、駒ヶ根市は4年目である。町にストックヤードの確保等の協力を求めるが。

**住民税務課長** リサイクルの観点から意義はある。現在不燃ごみは、箕輪町のクリーンセンター八乙女で選別し金属類は資源化、他は粉碎。上伊那クリーンセンターで焼却し残渣を八乙女に埋める。町内の気運の醸成が必要で、食器リサイクルの会・社協と共に研究する。



池上 明

## まちづくり課題

今後の町づくりの方向性は

住民が幸せを感じながら暮らせる町に

町長

**問** 飯島町には豊かな自然、美しい景観、清らかな水、新鮮な農産物など大きな魅力があるが、それらが十分に地域活性化につながっていないのではないかと。人口減少、若者の流出、高齢化、空き家・空き店舗の増加、地域コミュニティの希薄化といった現実を踏まえ、教育・文化を軸にした町の魅力づくりについて町長の考えは。

**町長** 人口減少は今後も続く見通しであり、他自治体の事例をそのまま取り入れるのではなく、住民が元気に幸せを感じながら暮らせる持続可能な町を目指す。新年度は、子育て支援の充実、高齢者が安心して暮らせる環境整備、移住・定住施策としての田舎暮らし体験住宅や住宅施策の推進に取り組む。

## 子育て世代に選ばれる町

**問** 英語教育や多文化共生を町の特色として育てるには、教育・文化・自然・地域資源を生かし、子育て世代に選ばれるまちづくりを提案するが。

**町長** 保育園での英語に触れる

機会、小中学校でのALT2名体制、国際交流事業などに取り組んでいる。

語学力だけでなく、コミュニケーション力や異文化理解を育てることを重視している。

## ミニシアター

**問** 空き家・空き店舗対策として、交流や文化発信の場となるミニシアター構想を提案するが。

**町長** 公約にも掲げているまち歩き地域づくりをしていきたい。

現在、担当者は空き家が出るとすぐにいろんな方につないで活用を呼びかけており、飯島の地区内でも、喫茶店や居場所が始まっている。

そういったものをつなぎながら街歩きのできるような場所をつくっていきたい。その中の一つとしてミニシアターがあってもいいと思う。

**企画政策課長** 空き家を活用したミニシアターには課題があるが、空き家の活用や居場所の提供、そういった視点から見ればよい取組の一つと考えている。

## 飯島町議会が全国町村議会議長会から特別表彰を受賞

評価された取り組みは以下のとおり。

- ☆住民懇談会や町民アンケートを実施。ホームページ、議会だよりなどで公表。
- ☆町職員・議員間等のハラスメント根絶のためR7年3月に「飯島町議会ハラスメント条例」を制定。
- ☆各自治会との懇談会のほか、自治会未加入者・外国籍住民との懇談会も開催。
- ☆定数報酬等検討委員会を立ち上げ、一定の方向性をまとめた。当時の片桐剛・坂井活広の正副委員長を中心に、町民アンケートを実施。改正案を町側に提出。

☆R7年4月改選に向け、議員のなり手不足解消をめざし、議員活動を紹介するセミナー「町の議員ってなあに？」と銘を打ち、R6年12月に開催。



# いいまち 議会だより 町民からの一言

令和8年1月発行の第113号 紙面に対するご意見

## 表紙

- 表紙見出しの割に、内容が薄い。
- トーンを明るくした方が、新年らしい。
- 「人つなぐ文化の館へ」は、議会の願いか、理事者の願いか、他の意味が分からない。

## 特集ページ

- 地域おこし協力隊の方が今どうしているか分かって良かった。
- 地域おこし協力隊として活動しているが、議会だよりで初めて知ることがたくさんあり、有難い。

## 委員会・本会議・全員協議会

- どんな質問をして、どんな答えがあったかよく分かる。
- 全員協議会での「柏木運動場アスベスト問題」の報告内容と議会の追及の内容を。

## 一般質問

- 記事内グラフは、分かりやすい。
- 募金の質問が面白い切り口で、説明も分かりやすかった。
- 「ウェルビーイング」の質問は「お互いの尊厳を目指した町づくりをしていく。つなぐ力で誰一人取り残さないまちづくりを目指す」との町長答弁を引き出す良い質問だ。
- 除雪の町対応の質問に、副町長答弁「文章では時間がかかるので、口頭では、困難であると答えている」は意味不明。
- JR東海に七久保駅舎縮小の住民説明会を開く様、町に強く求めて欲しい。

## 町民の声を議会に

- この人・この団体に取材という取り決めがあるか。作務的だと思われないか。
- テーマを絞り、インタビューやアンケートで町民の声を集め、掲載したらどうか。

## 全体をとおしてのご意見、ご要望

- 議会でどんな話しがされているのか、分かって良かった。
- 自治会の在り方に問題を感じる議員が多くいる。これからの活動に期待。
- 将来への展望が持てるような特集を求む。
- アンケートの声が一般質問につながれば良いことだ。
- 自治会懇談会で、今後も多くの町民の声を聞いて。

## その他

- 傍聴者を増やす取り組みを、各議員・事務局は積極的に知恵を出していくべきだ。
- 傍聴票記入や資料配布の改善を求める。
- 「追加日程」資料を休憩時に配布するなど配慮を求める。
- 12月9日議員が5人欠席、町当局も空席が目立った。こうした時の傍聴などへの対応が必要だ。

「いいまち議会だより」へのご意見・ご感想は右のQRコードか、  
議会事務局宛てに郵送または、いいちゃんポストへ



# 町民の声を 議会へ

このページは町民の皆様取材協力をお願いし、町政や議会への意見や感想を掲載しています。

今回は、村瀬<sup>やよい</sup>弥生さんに「みそ加工研究会」の紹介をお願いしました。

## 米麴、大豆、塩だけで味噌作り

私が知り合いに誘われて「みそ加工研究会」へ参加し、以前から興味があった手作り味噌に関わって約20年が過ぎました。会の創立は平成8年(1996年)、現在の会員は12人。代表者は那須野智代美さんです。(連絡先：090-1534-7952)。



### 常温保存の塩加減

私たちの味噌は米麴、大豆、塩のみで作成、「お陣屋みそ」という名前で販売しています。作り方は、米を蒸し、麴菌をつけて発酵させ、そこに煮た大豆を混ぜ込み最適な量の塩を加え、さらに一年半ほど寝かせ熟成させた味噌です。減塩味噌という味噌もありますが、私たちの味噌は常温保存できる塩分濃度で作って

るのが特徴でもあります。味噌を使った料理は多種多様ありますが、私たちの味噌を味噌汁で食べた人から「この味噌は他の味噌よりおいしい」という評価をいただき、私たちの励みになっています。買っていただいている人によっては、仕込みたての味噌が良いという人や、熟成した濃厚な味噌が良いという人もいます。

### 毎年の試行錯誤

味噌作りも、日によって変わる気温や湿度を見ながら良い味になるように毎年試行錯誤しています。自分で作ってみたいという希望の若い人たちにも参加していただいています。

これからも「発酵の町 飯島」の名に恥じないように会員一同、味噌作りに励んでいきたいと考えていますので、是非一度「お陣屋味噌」をご賞味いただければ幸いです。



### 販売店は

町内では道の駅花の里いいじま、道の駅田切の里、キッチンガーデンたぎり。町外では駒ヶ根高原農産物直売所でお買い求めいただけます。お土産にも喜ばれています。

### 議会へひとこと

議会の皆様にも「お陣屋みそ」を味わっていただき、「みそ加工研究会」を発展させ、町民の皆様知っていただく等の議論の場を設けていただければと思います。

### 議会だより



〈問題〉

子ども第三の居場所の愛称は？

「〇〇〇〇〇ハウス」

ヒントは9ページ

### 正解者3名様にいいちゃん商品券(500円)進呈

(締切は5/15、発表は発送をもってかえさせていただきます)

応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ、いいちゃんポスト・QRコードで、飯島町議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで



発行責任者／議長 宮脇 寛行 編集委員／◎浜田・○宮下・池上・三浦・荒川・星野

あなたの声を議会だより ☎0265(86)3111 内線230 FAX.86-4395 E-mail: gikai@town.iijima.lg.jp